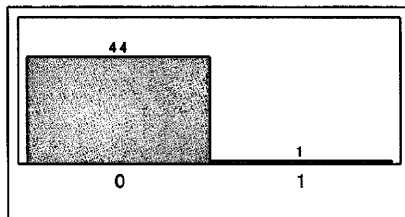
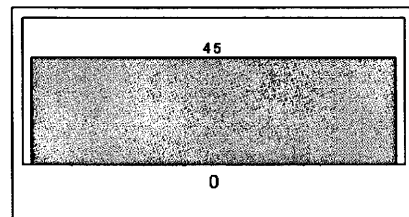


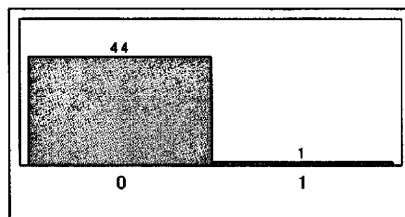
立ちくらみ



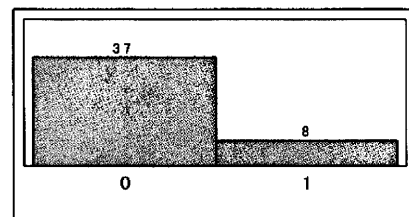
乗り物酔い



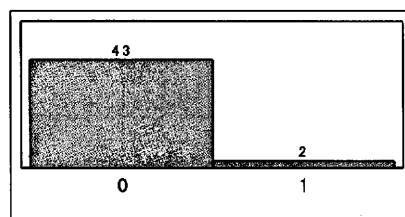
めまい



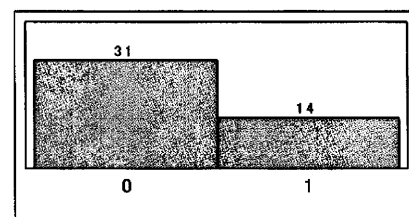
視力低下



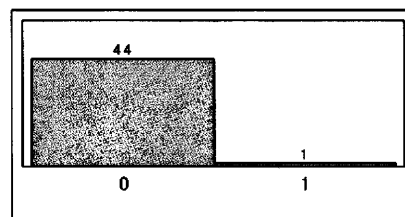
のぼせ



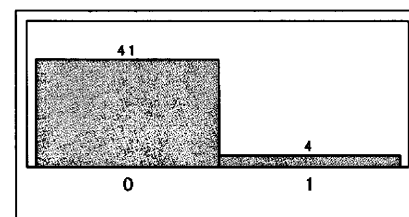
目が疲れる



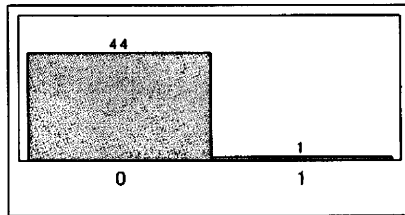
頭がぼーつとする



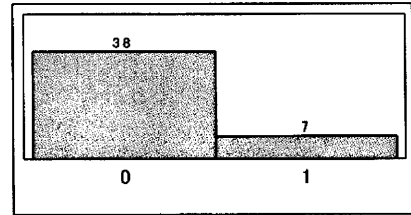
目がかすむ



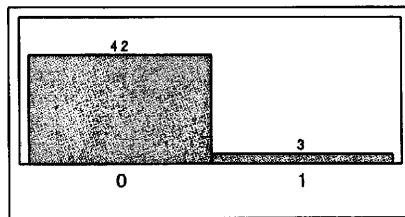
充血しやすい



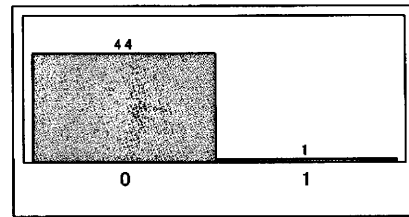
鼻水



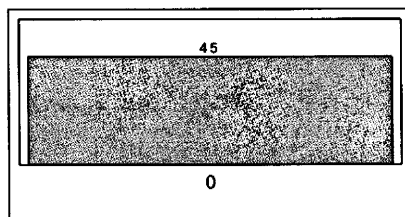
シヨボシヨボする



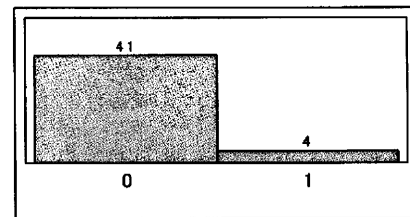
鼻水がのどにおりる



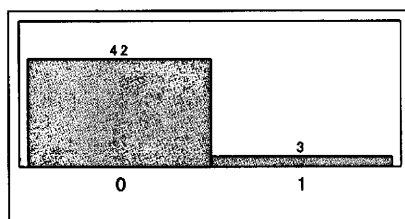
クマがしやすい



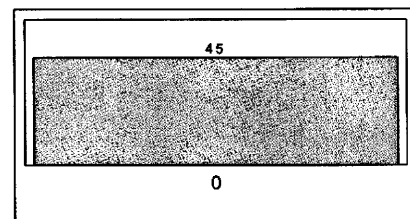
鼻がつまる



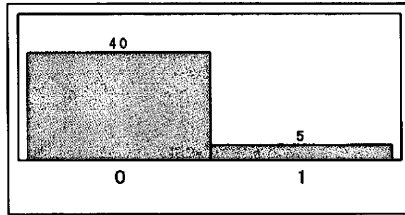
くしゃみ



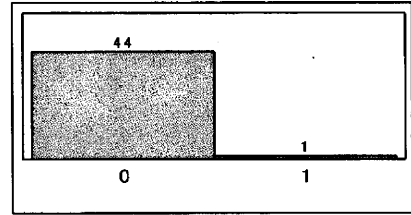
鼻血



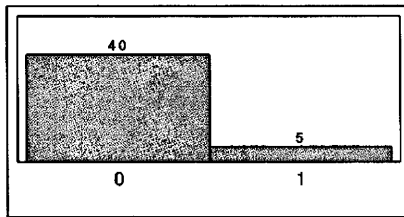
耳鳴



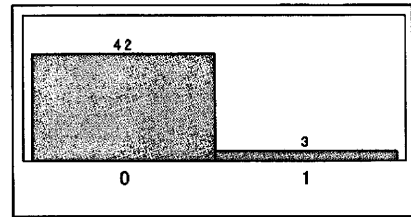
口が苦い



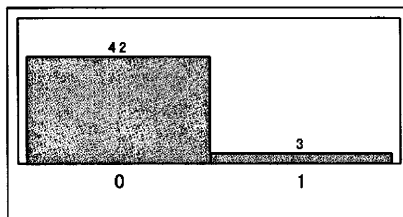
難聴



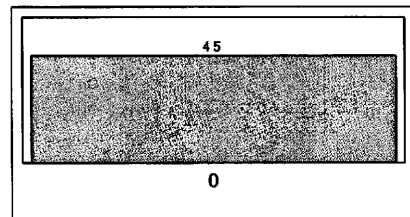
口がねばつく



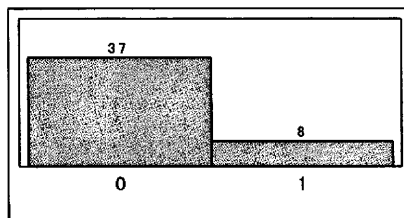
耳がつまる感じ



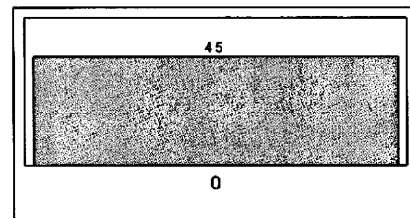
生唾がでる



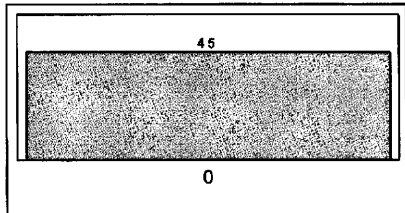
口の中が乾く



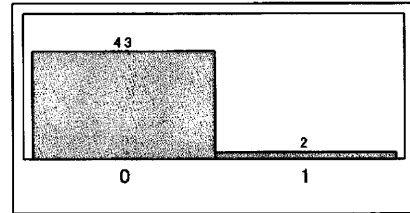
味がわからない



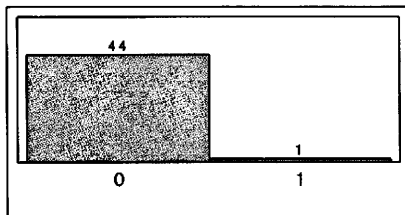
変な味がする



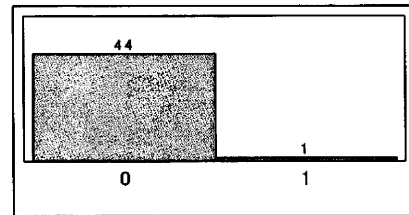
のどの痛み



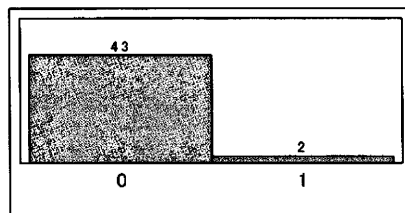
舌が痛む



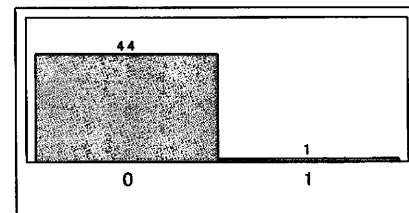
のどのつかえ



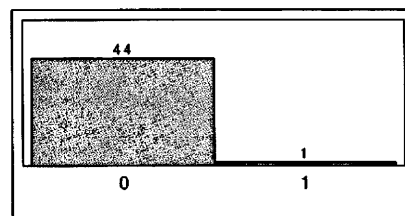
口内炎がしやすい



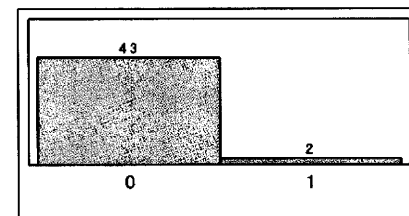
のどの違和感



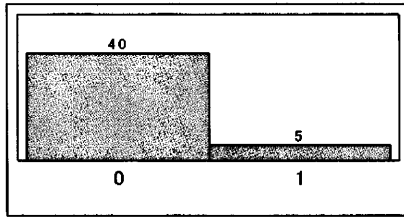
唇が乾く



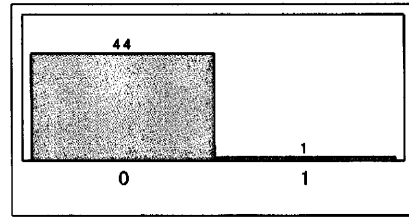
のどが渇きやすい



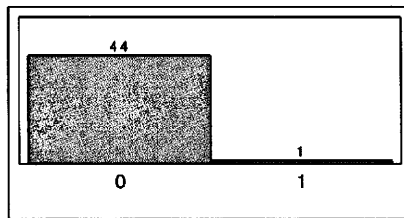
水分をよくとる



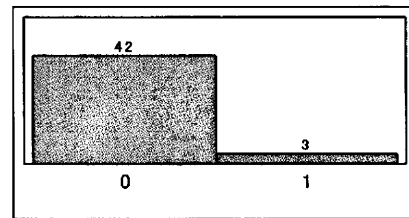
呼吸時に音が鳴る



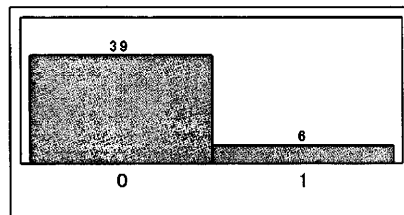
声のかすれ



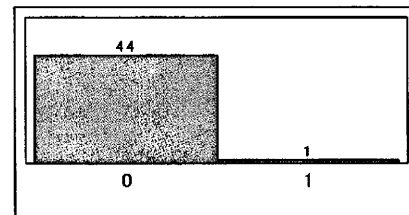
息切れ



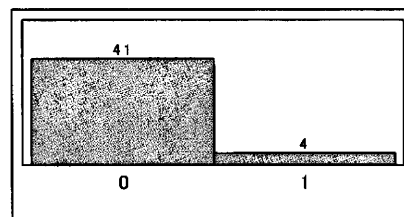
痰が出る



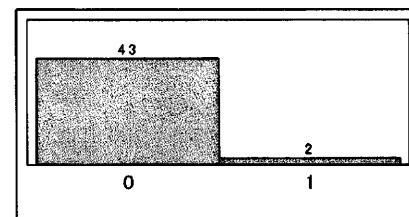
動悸



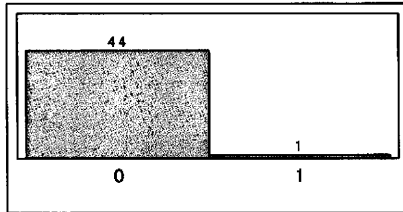
咳



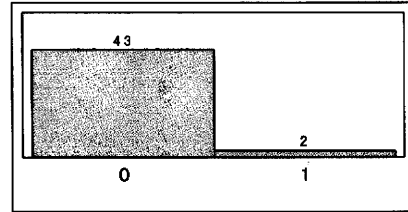
胸痛



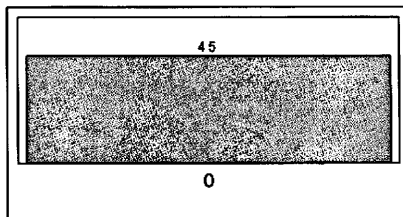
胸がつまる感じ



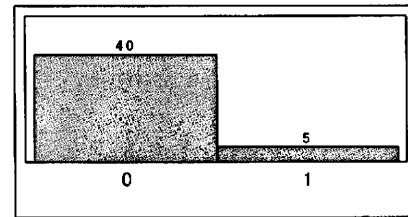
みぞおちの痛み



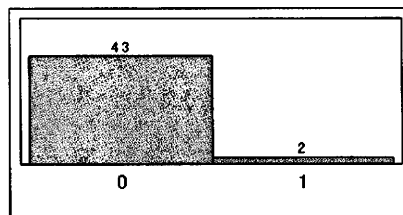
胸苦しさ



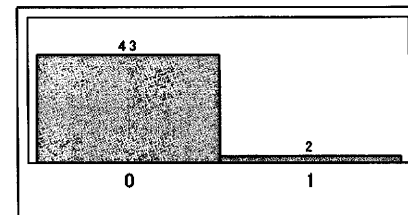
胃もたれ



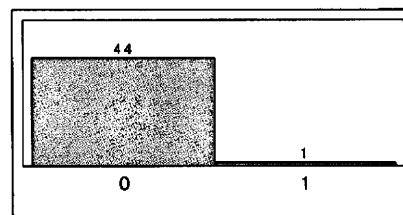
胸やけ



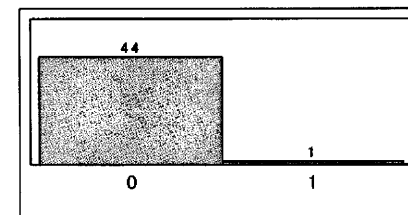
ゲップ



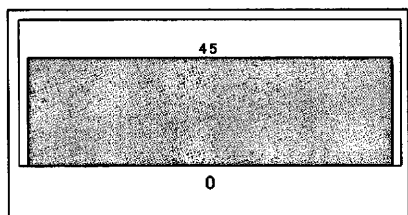
みぞおちのつかえ



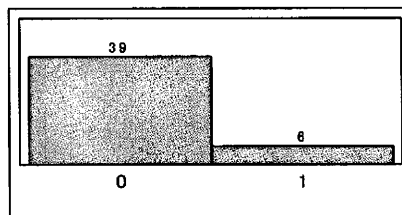
吐き気



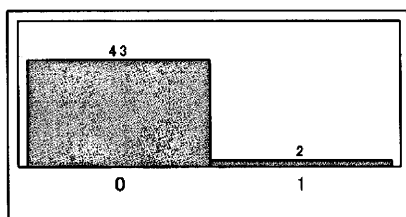
嘔吐



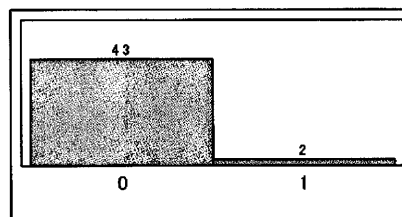
おならがよく出る



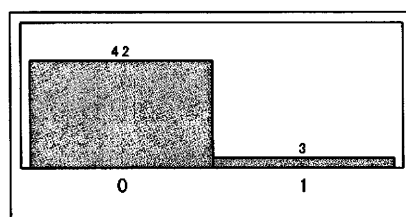
腹痛



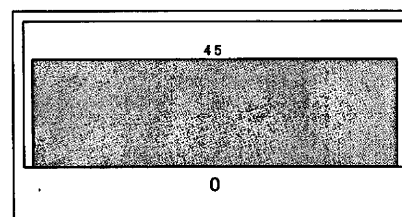
カサカサ



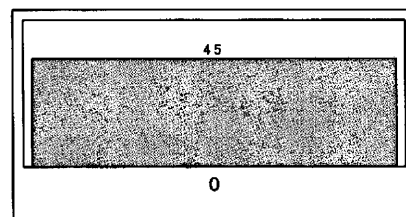
腹が張る



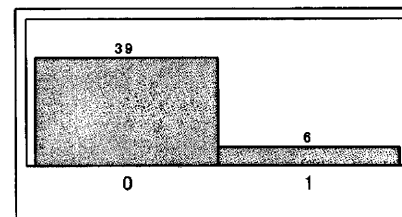
ジクジク



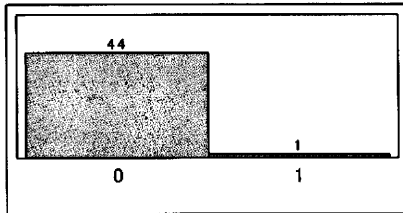
腹が鳴る



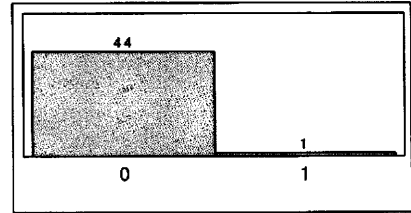
かゆみ



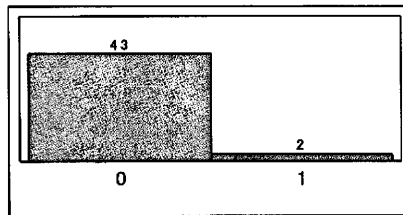
しもやけ



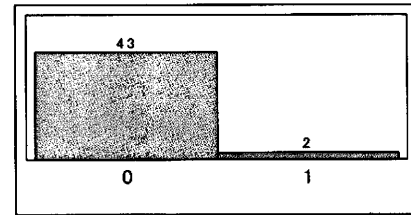
手のこわばり



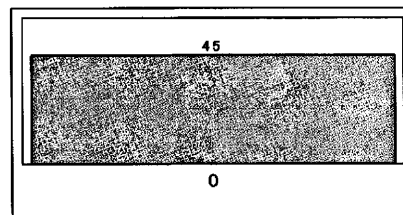
吹き出物



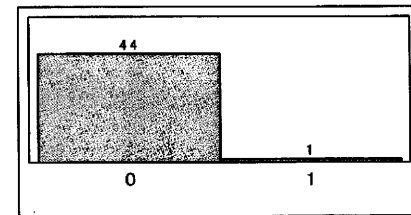
手足がだるい



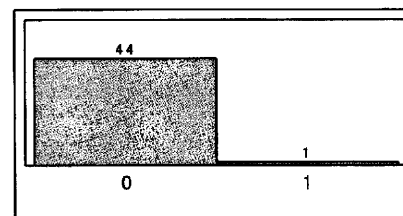
爪がもろい



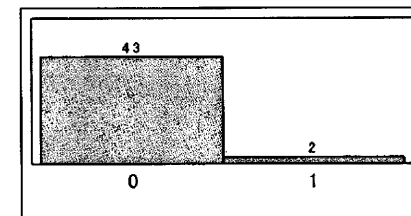
足に力が入らない



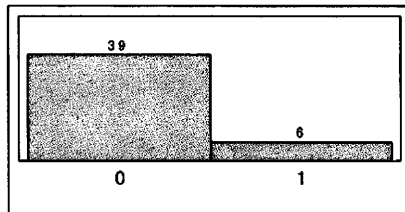
髪が抜ける



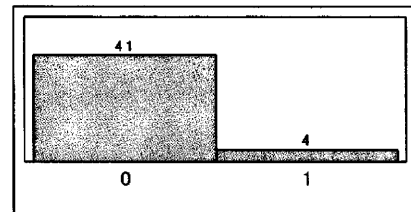
足がふらつく



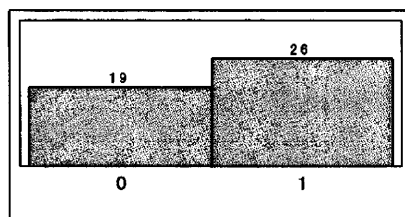
こむら返り



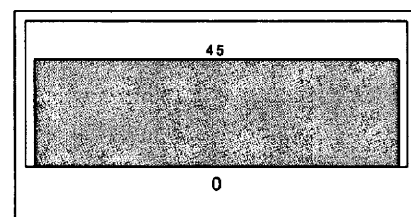
だるい



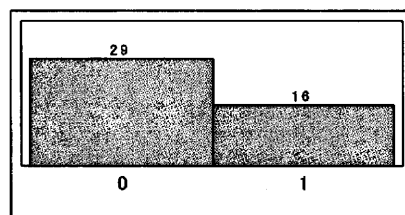
こり



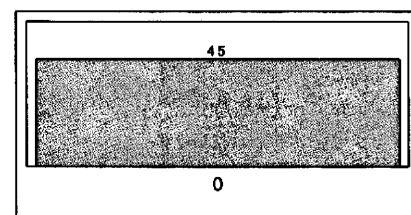
ふるえ



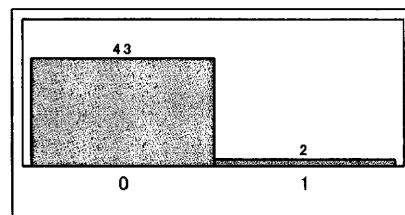
痛み



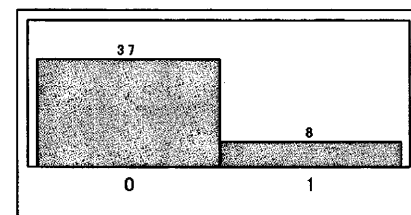
ピクピクする



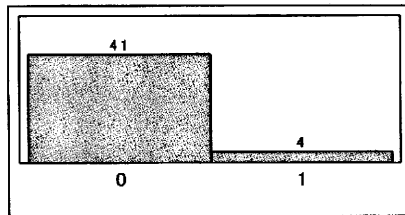
しびれ



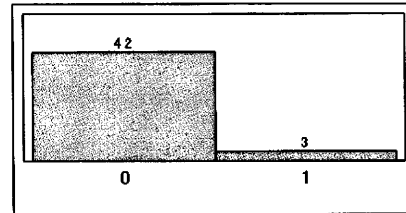
冷え



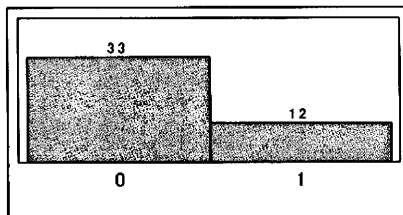
ほてり



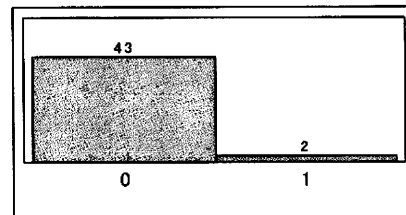
関節のはれ



むくみ



身体の違和感

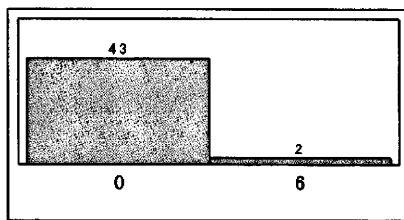


- 4分の1が睡眠障害を訴えており、睡眠時無呼吸症候群との関連性が疑われる。
- 4割以上が食べ過ぎを自覚しており、食生活への介入の必要性が示唆される。
- 便秘は1割未満であり、多くない。
- 肩などのこりを訴える患者は6割近くと多い。
- 冷え症状の有るものは17%と少ない。
- むくみ感は4分の1に見られる。
- 自覚症状を総合的に判断すると、メタボリック症候群が特定の漢方医学的な証と結びついているとは考えにくい。

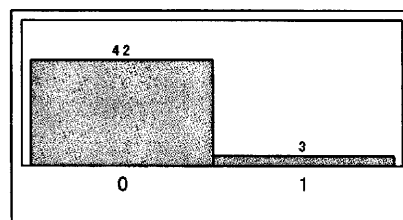
● 漢方医学的他覚所見

- 舌診

舌乾湿_4: 湿_0: 中間_6: 乾

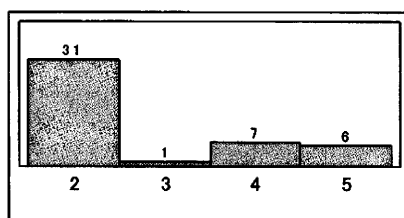


歯痕_0: なし_1: あり

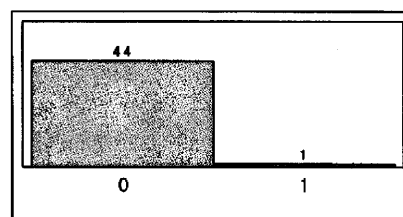


舌体色_1: 淡白_2: 淡紅_3: 紅_4:

暗紅_5: 紫

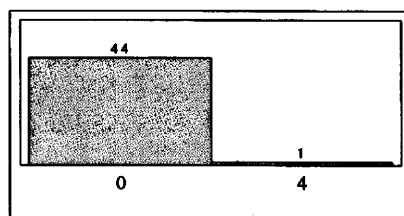


皸裂_0: なし_1: あり

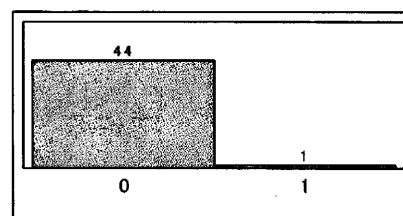


舌大きさ_4: 胖大_0: 中間_6: 瘦

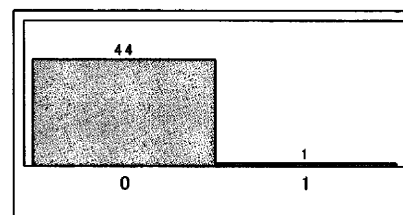
薄



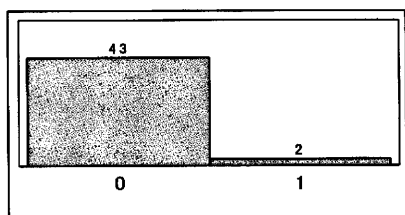
瘀点・瘀斑_0: なし_1: あり



紅点_0: なし_1: あり

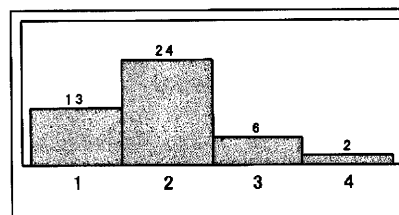


舌下の静脈怒張_0:なし_1:あり

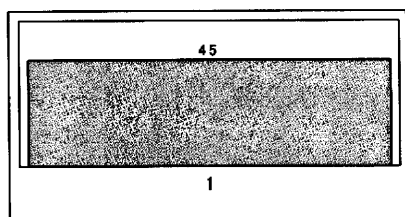


舌苔厚薄_1:薄_2:中_3:厚_4:

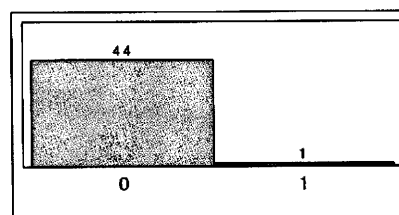
膩



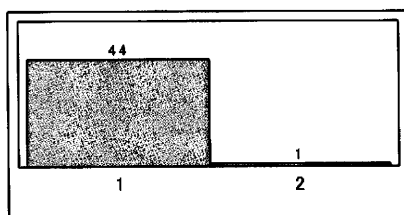
舌苔_0:なし_1:あり



地図状所見_0:なし_1:あり



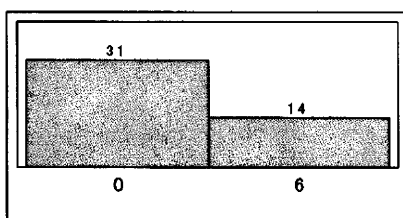
舌苔色_1:白_2:黄_3:灰_4:黒



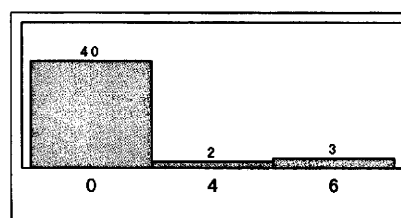
◇ 漢方医学的に瘀血の徴候とされる舌下の静脈怒張所見が陽性の患者は 5%未満と少なかった

➤ 脈診

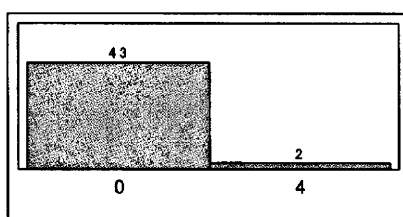
脈浮沈_4: 浮_0: 中間_6: 沈



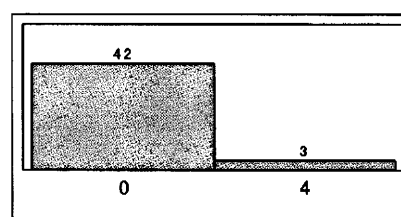
脈大小_4: 大_0: 中間_6: 小



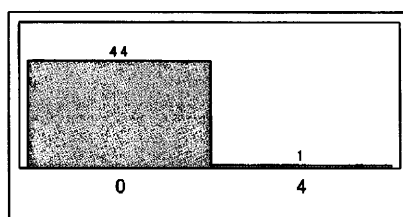
脈虛実_4: 実_0: 中間_6: 虚



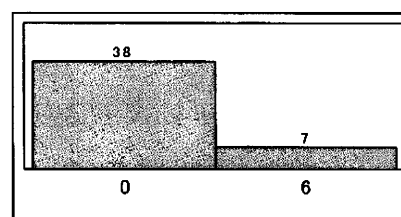
脈滑澁_4: 滑_0: 中間_6: 澁



脈数遅_4: 数_0: 中間_6: 遅



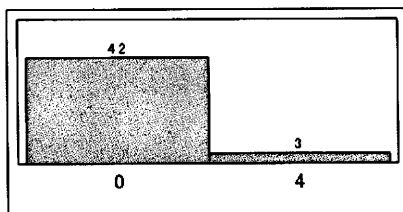
脈緊緩_4: 緊_0: 中間_6: 緩



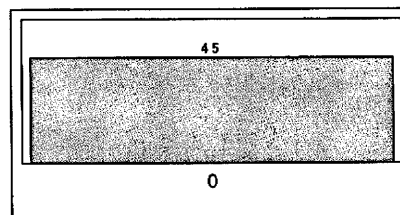
- ◇ 沈の所見を呈する患者が3割と多かった。
- ◇ 緩の所見を呈する患者も15%と比較的多かった。
- ◇ 漢方医学的には慢性でゆっくりとした病勢の反映と考えられる。

➤ 腹診

腹力_4:実_0:中間_6:虚

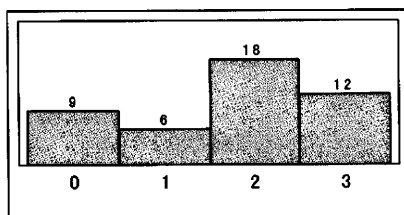


胃内停水_0:なし_1:あり

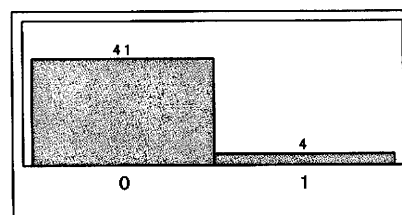


腹満_0:なし_1:太鼓_2:中間_3:

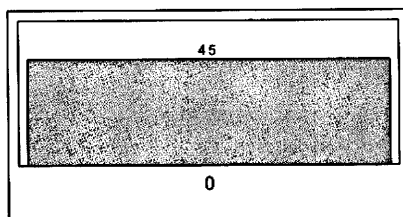
カエル_4:鼓音



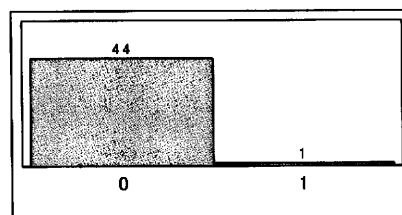
胸脇苦満_0:なし_1:あり



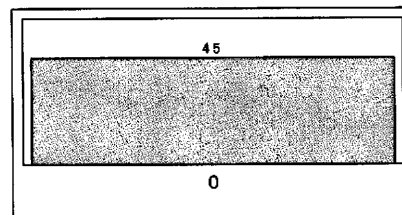
心下痞硬_0:なし_1:あり



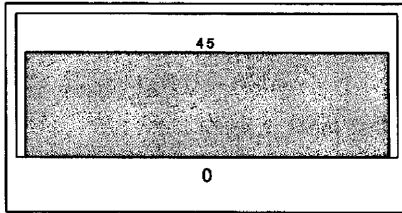
腹直筋掣急_0:なし_1:あり



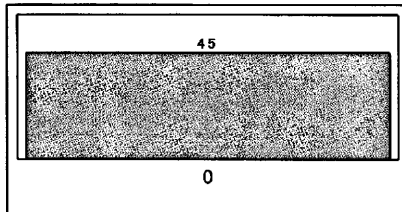
動悸_0:なし_1:あり



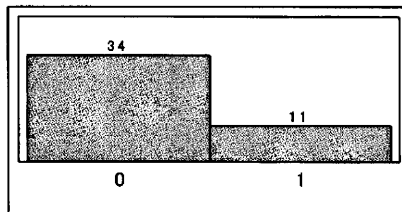
小腹不仁_0: なし_1: あり



正中芯_0: なし_1: あり



下腹部圧痛_0: なし_1: あり



- ◇ 腹力が実の患者は1割に満たなかった。
- ◇ 膨隆型の腹満所見を呈する患者が多かったが、どちらかといえばカエル型の膨隆が多かった。
- ◇ 小腹痛の所見を呈する患者はいなかった。
- ◇ 漢方医学的に瘀血の徴候とされる下腹部圧痛の所見を呈する患者が4分の1存在した。

● 総括

- メタボリック症候群は生活習慣病の代表であるが、今回の解析症例は生活習慣に大きな問題があるとは考えがたかった。
 - ◇ この点は、メタボリック症候群に対する薬剤治療がなされていない症例、つまり比較的軽症の症例を対象にしたことの影響が大きいと考える。BMIを含めた身体所見（血圧、CAVI値など）はこのことを示唆している。
- 血圧値と中性脂肪値の基準をクリアして組み入れられる患者が最も多い。
- LDLコレステロール値は比較的低い。
- インスリン抵抗性はかなり高く、メタボリック症候群の病態を反映している。
- 漢方医学的には瘀血の病態との結びつきが示唆されたが、強い関連があるとは考えにくい。

研究成果の刊行に関する一覧表

書籍

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の 編集者名	書 籍 名	出版社名	出版地	出版年	ページ

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年

